

～高校生と共に宗谷地域の未来を創ろう～

開催概要

- ◎日時：令和6年10月8日(火) 14:00～17:00
- ◎会場：稚内総合文化センター 小ホール (稚内市中央3丁目13番23号)
- ◎参加：約100名
- ◎プログラム
 - 第9期北海道総合開発計画の概要
 - 北海道総合計画などについて
 - 基調講演 「北海道開発の歩みとこれから —共に未来を創るために—」
北見工業大学 教授 高橋 清 氏
 - パネルディスカッション 「宗谷管内の高校生が考える明るい未来」
☆コーディネーター 北見工業大学 教授 高橋 清 氏
☆パネリスト (五十音順)
「何もない静かな山奥 ぶんちゃんの里」 小川 文 夫 氏
NPO 法人 街にいぎ隊PRO 尾崎 篤 志 氏
FMわっぴー パーソナリティ 川島 幸 子 氏
稚内大谷高等学校 校長 平岡 祥 孝 氏



【基調講演】高橋教授



パネルディスカッション



小川文夫氏



尾崎篤志氏



川島幸子氏



平岡祥孝氏

主なご意見

- 高校生アンケートで「稚内牛乳を海外に輸出しては」という意見があった。小・中・高校生にもっと酪農の大切さを伝えていけば酪農のイメージも変わってくるのでは。(小川氏)
- 飲食店、ショッピングセンターなど地域の供給力を高めることが若者の流出を食い止めることにつながる。また、女性の雇用力を上げることや、高速道路など社会資本整備を通じ本州と結んでいくことが重要。(平岡氏)
- 今後人口が増えることは考えにくい、人口を減らさない対策はとれるはず。また田舎暮らしを希望する人は多いので、外部から人を呼び込むためには住民の優しさを伝えるべく出会いの場をつくることも重要。(小川氏)
- 行政、地域、民間が一緒に考えて、やりがいのあるフィールド、仕事を作っていかなければならない。若者は生き活きと活躍できる場を求めており、一方で地域では人手不足の状況もあるので、ここを上手くマッチングできる仕組みを作る必要があるのでは。(尾崎氏)
- 地元が好きと思えることが大切。女性には特に子育ての環境が重要。稚内市の保育所は待機児童がゼロ、自然も豊かで子育てには大変いい環境。お金では代えられない地元の良いところをもっとPRしていく必要がある。(川島氏)
- 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地づくりのためには、広域的に連携して取り組んでいくことが大切ではないか。その結果、地域に仕事生まれ、子供たちが帰ってくるかもしれない。(尾崎氏)
- 稚内の高校生は稚内観光マイスター試験を受験している。自分のまちに誇りが持てるいい機会、その中からリーダーシップが取れる人材が生まれる可能性も高いと信じている。(川島氏)
- 交通インフラの基本は便数と時間帯。バスだけ、鉄道だけ、飛行機だけでは無理なので組み合わせ、最北の稚内と札幌、首都圏、関西圏といかに結んでいくか。交通政策も組み立てていただきたい。(平岡氏)
- ローカルに目を向けながらグローバルに対して発信していくことが重要。(高橋氏)
- 「ローカルからグローバル」をキーワードに、高橋氏およびパネリスト各位からの提言に基づき来年以降も継続的にイベントを行っていきたい。(稚内開発建設部・林部長)